

FastGene™ Q-ステイン

初回作成日: 2018年4月27日

前回改定日: 2023年9月1日

最新改定日: 2023年9月4日

版番号: 第 3.1 版

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	FastGene™ Q-ステイン FastGene™ Q-Stain
製品番号	NE-FG-QS1 (1L)、FG-QS(50mL)

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬(タンパク質染色試薬)
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細


製造元の会社情報	NIPPON GENETICS EUROPE GmbH Mariaweilerstraße 28-30, D- 52349 Düren, Germany
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1丁目4番14号 後楽森ビル 18階 電話番号: 03-3813-0961 ファックス番号: 03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号: 03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール: info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の GHS*分類

危険有害性項目	危険有害性区分
物理化学的危険性	GHS*分類基準に該当しない。
健康に対する有害性	
皮膚腐食性/刺激性	区分: 1 H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	区分: 1 H318: 重篤な眼の損傷
環境に対する有害性	GHS*分類基準に該当しない。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	 GHS05
注意喚起語	危険
危険有害性情報	
物理的危険性	危険有害性ある物質又は混合物ではない。
健康有害性	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 H318: 重篤な眼の損傷
環境有害性	危険有害性ある物質又は混合物ではない。

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-ステイン

注意書き	
安全対策	P260: 粉塵又はミストを吸入しないこと。
	P264: 取扱後は、手をよく洗うこと。
	P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
	P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P310: 直ちに医師に連絡すること。
	P321: 特別な処置が必要である(項目 4.1「応急措置」を参照すること)。
	P363: 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をすること。
保管	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。

2.3 GHS*分類に該当しない、又は GHS で扱われない他の危険有害性

NFPA*の表示システム(0-4)	H(健康危険性): 一、F(燃焼危険性): 一、R(反応危険性): 一、特定の危険:-
HMIS*の表示システム(0-4)	健康障害の危険: 一、火災の危険: 一、反応性: 一、特定の危険: 一

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物 (以下にリストされている物質と無害な添加物との水溶液)

3.2 化学名又は一般名

	化学名	CAS*番号	濃度
①	L-酒石酸 ((+)-Tartaric acid/(2R,3R)-2,3-dihydroxybutane dioic acid)	87-69-4	10~20%
②	エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol)	64-17-5	1~5%
③	安息香酸ナトリウム (Sodium benzoate)	532-32-1	<0.1%
④	水 (Water)	7732-18-5	50~<100%
⑤	クマシーブリリアントブルー (Coomassie brilliant blue)	6104-58-1	<0.01%
注意	濃度が範囲として表示されている場合: 組成の正確な濃度は、企業秘密として非公開が認められている。 残りの成分は、非危険有害性物質であると見なされ、開示義務の限度を下回る量で存在する。		

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般情報	症状が続く場合は、医師に相談すること。
	汚染された布と靴を脱ぎ、再使用する前に徹底的に洗浄すること。
	不快感や症状がある場合は、医師の診察を受けること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	影響を受けた人を空気の新鮮な場所に移し、安静な姿勢で暖かく保って休息させること。
	不快感や症状がある場合は、医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗浄すること。
	不快感や症状がある場合は、医師の診察を受けること。
眼に入った場合	可能であれば事前にコンタクトレンズを外して、瞼を広げて眼を流水で 15 分間注意深く洗うこと。

FastGene™ Q-ステイン

	眼科治療を行うこと。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。
	液体を吐き出し、口をすすぎ、大量の水を飲ませること。
	不快感や症状がある場合は、医師の診察を受けること。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

急性症状	知見なし
遅発性症状	知見なし

4.3 その他の情報

医師に対する特別な注意事項	除染、対症療法を行うこと。
	特定の解毒剤は知られていない。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	製品は可燃性ではないため、環境に応じて水噴霧、二酸化炭素(CO ₂)消火剤、泡消火剤、粉末消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	水棒状注水

5.2 火災時特有の危険有害性

危険有害性	火災の場合、有毒ガス(一酸化炭素、二酸化炭素、有機分解生成物)が放出される可能性がある。
-------	--

5.3 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火を行う者の保護	換気が悪く密閉された部屋では、自給式呼吸器(SCBA)を着用すること。
	消火作業の際は、適切な保護衣を着用すること。
予防措置	消火剤と消火措置を環境に合わせて調整すること。

5.4 その他の情報 : 特になし

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項	十分な換気を確保すること。
	エアロゾルの形成を避けること。
保護具	皮膚、眼、衣服との接触を避け、適切な保護具を着用すること。
緊急時措置	項目 8 に記載されている保護措置を参照すること。

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	下水道/地表水/地下水に入らない様にする。
	火災残留物及び汚染された水性廃棄物は、適切な容器に移し、管理された方法で処分すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法と機材

封じ込め方法	液体吸収材(万能吸収材等)を使用して漏出液を処理し、項目 13「廃棄上の注意」に記載されている様に処理すること。
浄化、回収、中和方法	汚染された表面を水で清浄すること。

6.4 その他の情報 : 項目 8「暴露防止及び保護措置」及び、項目 13「廃棄上の注意」に関する情報を参照すること。

FastGene™ Q-ステイン

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

火災及び爆発の予防	特別な対策の必要はない。
安全取扱注意事項	作業室には十分な換気(必要に応じて局所排気)を行うこと。
	職場での暴露制限を超えた場合は、適切な呼吸用保護具を着用すること。
	職場では、作業の進行に必要な使用可能量だけを保管すること。
	容器を開いたまま放置しないこと。
	こぼれないように注意し、壊れにくい容器で適切に取り扱い、破損し易い容器を運搬する場合は、適切な保護容器を使用すること。
接触回避	エアロゾルの吸入、眼、皮膚、衣服との接触、及び長時間又は繰り返しの曝露を避けること。

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

技術的対策と保管条件	開封した容器はしっかりと再封し、漏れを防ぐために正立状態で保管すること。
	常に元の物と同じ材質の容器に保管すること。
	保管温度は、4°Cを推奨する。
	日光を避けて保管すること。
梱包材	梱包材は、使用前に耐久性を試験する必要がある。
貯蔵室及び容器の要件	通路、階段、公共エリア、屋上、作業室での保管は禁止されている。
	混乱の恐れがあるため、食品用の容器を使用しないこと。
	容器には、鮮明で消えないラベルを貼ること。
	可能であれば元の容器に入れて保管し、容器はしっかりと密閉すること。
保管条件に関する詳細情報	保管クラス: 不燃性の腐食性物質
混触危険物質	同様の性質の物質のみを混触保管する必要がある。
	以下の物質との混触保管は禁止されている。 <ul style="list-style-type: none"> - 医薬品、食品、飼料(添加物を含む) - 感染性物質、放射性物質、爆発性物質 - 有機過酸化物、自己反応性で非常に反応性の高い酸化性物質

7.3 その他の情報

特定の最終用途	項目 1.2 で言及された用途以外に、他の特定用途は規定されていない。
---------	-------------------------------------

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 管理指標

化学名	CAS*番号	暴露限界の種類/データ元	長期暴露制限値 (8時間)	短期暴露制限値 (15分)
エタノール/エチルアルコール Ethanol/Ethyl alcohol	64-17-5	職業暴露限界/ ガイダンスノート EH40- 職場暴露限界(英国)	1920 mg/m ³	データなし

測定方法:

MTA/MA-064/A07: 空気中のエチルアルコール測定 - 活性炭吸着法

ガスクロマトグラフィー(NIOSH*1400: アルコール I, OSHA*ID-100: エチルアルコール)

8.2 生物学的暴露限界: データなし

FastGene™ Q-STEIN

8.3 個人保護措置

呼吸器の保護	少量の製品を取り扱う場合には、呼吸用保護具は必要ない。 例外的な作業条件の場合や大量に使用しエアロゾル発生危険性がある場合は、承認されたフィルターを備えたハーフマスク等の呼吸用保護具を使用すること。 着用期限を守ること。
手の保護	製品が皮膚に接触する危険性のある場合は、承認された適切な保護手袋を着用して十分な保護を確保すること。 使用前に、特定の作業条件(例えば、機械的耐性、製品の適合性、帯電防止特性等)下での保護手袋の適合性について試験すること。 保護手袋の使用、保管、メンテナンス、交換等に関する指示と情報を守ること。 破損や擦り切れた保護手袋は、すぐに交換すること。
眼の保護	サイドシールドを備えた安全メガネを着用すること。
皮膚の保護	化学工業用の衣服を使用すること。 皮膚保護剤は保護手袋ほど有効ではないため、可能な限り有効なものを使用すること。 保護手袋を着用することができない場合は、作業を開始する前と休憩毎に水不溶性の皮膚保護剤を清潔な皮膚に塗布すること。 休憩前と作業終了時には、石鹼と水で皮膚を洗浄する必要がある。 洗浄後は、油性の皮膚保護剤を塗布すること。
身体の保護	通常、特別な身体保護は必要ないが、適切な作業衣(白衣)を着用すること。
一般的な保護及び衛生対策	労働時間中は、飲食、喫煙をしないこと。 食べ物や飲み物は、遠ざけること。 眼や皮膚との接触を避けること。 汚染され濡れた衣服は、直ちに脱がせること。 休憩前と就業時間の終わりには、手を洗うこと。

8.3 その他の情報

環境への曝露の抑制	漏れやこぼれを防止すること。
エンドユーザーの曝露の抑制	蒸気、ミスト、ガスの吸入を避け、発火源を除去すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

外観(物理的状態)	液体
色	透明なブルー
臭い	無臭
pH(20°C)	<2 (pH 試験紙での目視)
融点/凝固点(範囲)	約 0°C
沸点/沸騰範囲	約 100°C
蒸発速度(水=1)	<1
引火点	非該当
自然発火点	非該当
蒸気圧(20°C)	14 mmHg
密度及び/又は相対密度	データなし
蒸気密度(空気=1)	0.7 g/m ³
溶解度(20°C)	無制限に可溶
粒度分布	非該当
n-オクタノール/水分分配係数(log Kow)	データなし
動粘度	データなし
爆発下限界	非該当
爆発上限界	非該当

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-ステイン

9.2 その他の情報: 特になし

10. 安定性及び反応性

反応性	指示に従って保存及び使用した場合には危険な反応は報告されていない。
化学的安定性	指示に従って保管及び使用した場合には化学的に安定と考えられる。
危険有害反応の可能性	指示に従って保管及び使用した場合には危険有害反応は報告されていない。
避けるべき条件	高温
混触危険物質	強酸、強塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	高温下で一酸化炭素、二酸化炭素、有機分解生成物が発生する可能性がある。
その他の情報	データなし

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

毒物動態、代謝及び分布	データなし	
急性毒性	OECD* 毒性試験ガイドライン	急性毒性推定値
	急性毒性試験(急性経口毒性試験: -) 動物種: -	LD ₅₀ *: データなし 備考: -
	急性毒性試験(急性経皮毒性試験: -) 動物種: -	LD ₅₀ *: データなし 備考: -
	急性毒性試験(急性吸入毒性試験: -) 動物種: -	LC ₅₀ *: データなし 備考: -
皮膚腐食性/皮膚刺激性	本製品は、極端な pH 値(<2)に基づいて、皮膚腐食性及び眼損傷性として分類される。OECD* 刺激性試験 TG431(In vitro 皮膚腐食性: 再構築ヒト表皮(RhE)試験法)では、陽性の結果が報告されている。	
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性		
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし	
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし	
誤嚥有害性 (吸引性呼吸器有害性)	データなし	
亜急性毒性及び慢性毒性	データなし	

11.2 可能性のある暴露経路の情報

飲み込んだ場合	データなし
皮膚に付着した場合	データなし
眼に入った場合	データなし
吸入した場合	データなし

11.3 その他の情報: 特になし

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

生体毒性	生態影響試験	毒性推定値
短期間(急性)水生有害性	藻類生長阻害試験 ・試験法: -	EC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	オオミジンコ類急性遊泳阻害試験 ・試験法: -	EC ₅₀ *: データなし
	魚類急性毒性試験 ・試験法: -	LC ₅₀ *: データなし

FastGene™ Q-ステイン

長期間(慢性)水生有害性	オオミジンコ繁殖試験 ・試験法: -	EC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	魚類延長毒性試験 ・試験法: -	LC ₅₀ *: データなし NOEC*: データなし
	魚類の初期生活段階毒性試験 ・試験法: -	LOEC*: データなし NOEC*: データなし
	底質添加によるユスリカ毒性試験 ・試験法: -	EC ₅₀ *: データなし LOEC*: データなし NOEC*: データなし

12.2 残留性・分解性

生分解性	データなし	
非生物的分解	データなし	
PBT* 及び vPvB* 評価結果	データなし	
急速分解性	易生分解性試験(淡水系) ・試験法: -	生分解性: データなし
	生分解性試験(海水系) ・試験法: -	生分解性: データなし
	急速分解性の指標 ・BOD* (5日間)/COD* 比	急速分解性: データなし

12.3 生物蓄積性

生物蓄積性	魚類での生物蓄積性: 水暴露法及び餌料投与方法 ・試験法: -	BCF*: データなし BMF*: データなし BAF*: データなし
	オクタノール/水分配係数測定試験 ・フラスコ振盪法: - ・HPLC 法: - ・緩慢攪拌法: -	log Kow*: データなし log Pow*: データなし log Pow/log Kow*: データなし

12.4 土壤中の移動性

吸着試験	データなし
浸出試験	データなし
Log Koc(土壌吸着係数)	データなし

12.5 他の有害影響

オゾン層への有害性	データなし
光化学的オゾン発生の可能性	データなし
地球温暖化の可能性	データなし
内分泌かく乱の可能性	データなし
備考	指示に従って使用し、取り扱った場合、本製品は当社の経験及び最新情報に従うと有害な影響を引き起こさないが、流域や水域に大量に排出すべきではない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
	廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、水、必要に応じて洗浄剤を使用して内容物を完全に除去すること。
	完全に空でない場合は、製品入り容器と同様に処分すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-ステイン

13.2 その他の情報 : 特になし

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

国連番号 (UN Number)	UN3265
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	L-酒石酸:その他の腐食性物質(有機物)(液体)(酸性のもの)
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	クラス8(腐食性物質)
容器等級 (Packing Group)	II
環境への危険性	項目 12 を参照のこと。
ユーザー向け特別注意事項	項目 9 を参照のこと。 ADR*/RID*, ADN*, IMO*/IMDG Code*, ICAO*/IATA DGR*で規制に従うこと。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

15. 適用法令

① L-酒石酸/(+)-Tartaric acid (CAS*番号:87-69-4、濃度:10~20%)

化審法	非該当
PRTR 法/化管法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特措法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物処理法/廃掃法	産業廃棄物
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-ステイン

地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当
カルタヘナ法	非該当
医薬品医療機器等法/薬機法	非該当

② エタノール/Ethanol (CAS*番号:64-17-5、濃度:1~5%)

化審法	非該当
PRTR法/化管法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	危険物・引火性の物 名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第4類引火性液体、アルコール類⇒濃度及び引火点が低いため適用除外
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	有機化学物質
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
大気汚染防止法	揮発性有機化合物
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特措法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類物質)
廃棄物処理法/廃掃法	産業廃棄物
航空法	引火性液体
船舶安全法	引火性液体類
港則法	その他の危険物・引火性液体類⇒含有率が24容量%以下のため適用除外
道路法	車両通行制限品目⇒濃度及び引火点が低いため適用除外
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当
カルタヘナ法	非該当
医薬品医療機器等法/薬機法	非該当

③ 安息香酸ナトリウム/Sodium benzoate (CAS*番号:532-32-1、濃度:<0.1%)

化審法	非該当
PRTR法/化管法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	有機化学物質
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当

FastGene™ Q-ステイン

オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特措法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	有害物質、水質基準
海洋汚染防止法	有害液体物質 (Z 類物質)
廃棄物処理法/廃掃法	産業廃棄物
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当
カルタヘナ法	非該当
医薬品医療機器等法/薬機法	非該当

④ 水/Water (CAS*番号:7732-18-5、濃度:50~<100%)

化審法	非該当
PRTR 法/化管法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特措法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
廃棄物処理法/廃掃法	産業廃棄物
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当
カルタヘナ法	非該当

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-STEIN

医薬品医療機器等法/薬機法	非該当
⑤ クマシーブリリアントブルー/Coomassie brilliant blue (CAS*番号: 6104-58-1、濃度: <0.01%)	
化審法	非該当
PRTR法/化管法	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
覚醒剤取締法	非該当
大気汚染防止法	非該当
オゾン層保護法	非該当
悪臭防止法	非該当
ダイオキシン類対策特措法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物処理法/廃掃法	産業廃棄物
航空法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
道路法	非該当
労働基準法	非該当
農薬取締法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
地球温暖化対策推進法	非該当
フロン排出抑制法	非該当
カルタヘナ法	非該当
医薬品医療機器等法/薬機法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的のみなされるものではなく、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触に起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

略語

- ADN(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Inland Waterways): 危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定
- ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定(道路での危険物の国際輸送に関する欧州協定)
- BAF(Bioaccumulation Factor): 生物濃縮係数(水及び餌)
- BCF(Bioconcentration Factor): 生物濃縮係数
- BMF(Biomagnification Factor): 生物濃縮係数(餌)
- BOD(Biochemical Oxygen Demand): 生物化学的酸素要求量(排水中の有機物量の指標)
- CAS(Cheical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス

安全データシート(SDS 番号: SDSFG0020)

FastGene™ Q-STEIN

- COD(Chemical Oxygen Demand): 化学的酸素要求量
- EC₅₀(Median/50% Effective Concentration): 成長(遊泳)阻害半数(50%)影響濃度 (水生毒性)
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- HMIS(Hazardous Materials Identification System): 危険有害性物質識別システム
- IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMDG Code(International Maritime Dangerous Goods Code): 国際海上危険物規程で定めたコード
- IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- LC₅₀(Lethal Concentration 50% kill, Median Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- LD₅₀(Lethal Dose 50% kill, Median Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- LOEC(Lowest Observed Effect Concentration): 最小影響濃度
- log Pow/log Kow(octanol/water partition coefficient as logarithm): オクタノール/水分配係数の指数値
- MARPOL(International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships) 73/78: マルポール条約/1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書("MARPOL"=marine pollution/海上汚染)
- NFPA(The National Fire Protection Association): 全米防火協会
- NIOSH(National Institute for Occupational Safety and Health): 米国労働安全衛生研究所
- NOEC(No Observed Effect Concentration): 無影響濃度
- OECD(Organisation for Economic Co-operation and Development): 経済協力開発機構
- OSHA(Occupational Safety and Health Administration (USA)): 米国労働安全衛生局
- PBT (Persistent bioaccumulative and toxic substances): 難分解性、生物蓄積性、毒性を示す物質
- RID(Regulations Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Rail): 欧州危険物国際鉄道輸送規則
- TWA(Time Weighted Average): 時間加重平均値、時間荷重平均値
- vPvB (Very Persistent and very Bio-accumulative): 極難分解性、極生物蓄積性を示す性質あるいはそのような性質を有する物質

引用文献及び参照ホームページ等

- JIS Z 7252: GHS に基づく化学品の分類方法
- JIS Z 7253: GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- ezCRIC+ (日本ケミカルデータベース株式会社)

以上